

ヒルズレポート

2023. 9 月



サイエンスヒルズこまつ
SCIENCE HILLS KOMATSU

9/9 雪って、どんな形? ~ペットボトルで雪をつくってみよう~

講師 石川県立大学環境科学科 皆巳 幸也 先生

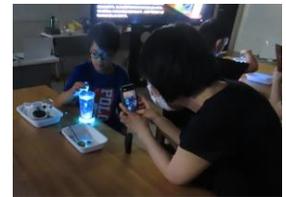
雪の結晶は雲の中でできた小さな氷の粒が成長したものです。雪の結晶の形は温度や水蒸気の量によって様々に変化するのだそうです。私は、雪の結晶といえば六角形以外にはないと思っていました。実験では、ペットボトルをぬらし、何度も息を吹き込むことで水蒸気を作り、発泡スチロールの箱の中に入れます。そこにドライアイスを含め、低温状態を作っていきます。ペットボトルの中に釣り糸を垂らすと、糸に雪の結晶ができました。成長していく様子をととても興味深く観察しました。



9/10 宮沢賢治と科学実験 講師 四ヶ浦 弘 先生



宮沢賢治さんの作品に出てくる科学的表現を実験で確認したり、体験したりする教室でした。金属イオンによる炎色反応や再結晶などさまざまな実験を楽しみました。青白い光、とても幻想的ですね。私は、小学校6年の国語で出てくる「やまなし」のイメージを強く持ちました皆さんはいかかですか。



9/16・17 巻き巻きパンを作ろう 講師 本館スタッフ

小麦粉で練った生地を串に巻き、巻き巻きパンを作りました。炭火で焼きますが、火力の調整が難しく、焦げすぎないようにと参加した子どもたちは集中していました。最後に焼きあがったパンを食べました。みんなとてもうれしそうな顔で、美味しいパンをほおぼっていました。



9/23 フュージョンエネルギー ~地上の太陽をめざす~

講師 量子科学技術研究開発機構 QST アソシエイト 池田 佳隆 先生

石川県出身の池田先生によるフュージョンエネルギーの講演でした。フュージョンエネルギーとは、軽い原子核同士が融合して、別の原子核に変わる際に放出される核融合エネルギーのことで、太陽が絶えず輝いているのと同じ原理だそうです。エネルギー資源の乏しい我が国にとって、化石燃料からグリーンエネルギーへ移行しつつ、エネルギーを確保することは大切な問題になります。「地上の太陽」とも言えるフュージョンエネルギーの期待と実用化について、熱く語っていただきました



9/24 第10回 宇宙エレベーターロボット競技大会に挑戦しました。

宇宙エレベーターロボット競技大会 関西地区大会が開催され、本館より2チームが出場しました。高校生チームにも負けないうくらい頑張り、優勝と準優勝の成績を収めました。夏休みから練習してきた成果を出し切りました。来年は、全国大会につながる部門に出場したいと、今から意気込んでいます。